

しんじょう 8

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.728



新庄市役所 Tel22-2111
ファクス22-0989

新庄市ホームページ 検索
<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
メール info@city.shinjo.yamagata.jp



ユネスコ無形文化遺産
国重要無形民俗文化財



受け継がれる 心意気





製作中の風流「天竺徳兵衛韓」(清水川町若連)



表紙の写真

昨年度、歌舞伎部門の最優秀山車に選出された千門町若連と、物語部門の最優秀山車に選出された落合町若連の方々にお集まりいただきました。2台の山車は、8月27日(月)の早朝に行われる入れ替えまで、ふるさと歴史センターに展示されています。

広報

しんじょう 8

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.728

目次◎CONTENTS

特集／受け継がれる 心意気

- 4 起源と復活 共通する心意気
- 6 現代に受け継がれる 心意気
- 8 祭りを彩る 心意気
- 10 まちとび
- 12 スポーツをより身近に支える
スポーツを通じたコミュニティづくり
- 14 地域おこし協力隊 活動レポート
- 16 図書館に行こう!
- 17 お知らせなど
- 20 連載 ものづくりの街しんじょう

市長コラム

山尾順紀



新庄大好きコンテスト

7月11日(水)15時50分から、大地会館で新庄市PTA連絡協議会(会長矢口淳氏)主催の「市長と教育を語る会」が行われました。私は、西日本豪雨災害で犠牲になられた方々へのお悔やみと被災者へのお見舞いを、あいさつの始めに申し上げました。津波はもとより、水害の恐ろしさを本当に見せつけられました。一日も早く普段の生活が取り戻せるようお祈り申し上げます。

さて、PTA連絡協議会の今回のテーマは、「ふるさと新庄を愛し、新庄を支える人づくり」です。私が参加した「市長と教育を語る会」では、今後新庄はどうなっていくのかという課題に対し、PTAとしてどう取り組めばいいのかについてグループ討議を行いました。その後、話し合われた内容をグループリーダーが発表し、互いに認識を共有しました。テーマの「ふるさと愛」では、新庄まつりが大きな役割を果たしていることが参加者の共通認識でした。「支える人づくり」では、無意識に新庄は何もなという大人社会の声があり、新庄の企業や産業の実態を親自身が知らないため子どもへのアドバイスが弱く、次代を支える人材として新庄に戻せていないのではないかと話がありました。そこで、子どもの目で見た、心で感じた「新庄良いところ発表会(新庄大好きコンテスト)を行って」という意見が出され、発表場所を議場でという提案がありました。過去に中学生の発表会も同じように議場で行われ、議員の皆さんの前で発表した経緯があり、今回それができれば子どもたちにとって大きな自信となることでしょうか。PTA協議会にはぜひ実現していただきたいものです。



我々の祭りはここにある
時代を紡ぐ 次代に繋ぐ

過去から現代へ 新庄まつりの心意気

260余年の歴史。脈々と受け継がれてきた伝統は、世界が認める文化へと成長を果たしてきました。

新庄まつりの起源はどこにあり、悠久の時の中でどのように変化し、現代に受け継がれているのか。

山車やたいの形や催し物が変化しても、原点にある心意気は不変であるからこそ、

国境を超越した魅力があるのではないのでしょうか。

今号では、新庄まつりの起源を改めて振り返り、根絶の危機を迎えながらもその度に復活を遂げてきた歴史の裏側で根差した心意気が、現代にどのような形で受け継がれているのかをご紹介します。

起源と復活 共通する心意気



それは
新庄に住む
人々の
元気のために

きっかけは

「領民の活気を取り戻す」

さかのぼること260余年、江戸中期にあたる宝暦5年。新庄を含む奥羽地方は「支年の凶作」と名付けられた酷い冷害による深刻な凶作飢饉に見舞われました。穀物は実らず大量の餓死者がでて、領内の人口は激減し、廃村の危機に瀕した村も少なくありませんでした。他国から流れてくる乞食も後を絶たず、疫病も蔓延していました。当時を生き延びた領民が憔悴しきっていたのであろうことは、想像に難くありません。

飢饉の翌年、宝暦6年。「犠牲者を弔い、生きながらえながらも憔悴しきっている領民の活気を何とか取り戻したい」と考えたのが、当時の新庄藩を治める戸沢家五代藩主・戸沢正誼公でした。正誼公は、五穀豊穡と領内安全を願い、戸沢家の氏神である城内天満宮の祭典を身分や老若男女の区別なく全領民をあげて行うことで、活気を取り戻そうとしました。

元和8年(1622年)

戸沢政盛、新庄藩へ

寛永5年(1628年)

城内天満宮建立

寛文8年(1668年)

城内天満宮再建

延宝8年(1679年)

城内天満宮改築

延享2年(1745年)

戸沢正誼(五代藩主)家督を継ぐ

宝暦5年(1755年)

冷害による凶作飢饉が新庄藩を襲う

宝暦6年(1756年)

正誼公、領民の再起を願い

城内天満宮の祭礼を始める

安永5年(1776年)

記録に山車が初めて登場

慶応4年(1868年)

戊辰戦争で城下は焼け野原に





▲御物成大凡中勘帳
現在でいう予算書に近いと考えられる資料。写真は右から安政5年、文久2年、文久3年のもの。

これが、新庄まつりの起源だと言われている。お祭りの賑わいは藩周辺の村に留まることなく、現在の河北町などの村山方面からも参詣者が集まるほどだったとの記録があります。正誼公の計らいは実を結び、当時の領民は大いに元気づけられたことでしょう。

焼野原からの復活

「亥年の凶作」から100年以上が経過した慶応4年。京都で端を発した「鳥羽・伏見の戦い」を起点とする「戊辰戦争」の戦禍は、東北地方にまで広がりました。新庄では城と城下町が焼き討ちにあい、城下の大半が焼失しました。翌明治2年に版籍奉還、明治4年に廃藩置県と、わずか4年間でめまぐるしく状況が変化しました。

このような激動の時代において、祭りが行われたのかどうか。明治2

年に記された資料によると、天満宮の神輿を新調し、看板・法被といった物品を購入するために200両（現在の1,500万円に相当）を予定するとの記述があります。つまり、戦禍に見舞われた翌年の明治2年から明治3年には、早くも祭りが再開されていたということがうかがえます。城下の復興もしなければならぬ状況下で多くの予算を計上し、早期に祭りを再開させた新庄藩。ここにも、戦災で打ちひしがれている領民を奮い立たせようとする意図があったのかもしれない。

終戦直後の混乱期からの復活

さらに時を進めることおよそ70年。昭和12年に勃発した日中戦争を皮切りに、昭和16年には太平洋戦争へと発展し、終戦を迎える昭和20年まで日本は戦争の時代を歩みまわった。すべてが戦争のために動員され、人びとの生活は年々苦しさを増していきました。この間、神輿渡御行列と山車行列の両方が行われたのは昭和17年の一度きりでした。

終戦翌年の昭和21年。戦争が終わったとはいえ、まだまだ混乱を極めていた時代。食糧を満足に入手することも困難だったであろうこのときに、1台の山車が再び姿を表しました。沖の町による「羽衣」です。このたった1台の山車が、当時の新

庄の人びとをいかに元気づけたのでしょうか。「羽衣」に登場する天女が、これから訪れる平和な時代の象徴として人びとの目に映っていたのかもしれない。

▲沖の町「羽衣」(昭和21年)

終戦の翌年に見事復活を遂げた山車。物が満足に入らなかった時代に、どのような思いでこの山車を完成させたのか。ここにも、新庄に住む人々を元気づけたいという心意気を感じられます。



大正12年(1923年)

関東大震災を受け、山車は各町内に飾るだけとなる

昭和12年(1937年)

盧溝橋事件(日中戦争の発端)発生。時局柄、城内天満宮祭礼中止

昭和15年(1940年)

国中が戦時色「色」となるなか、皇紀2600年であるため、神輿渡御のみ行われた

昭和16年(1941年)

太平洋戦争勃発。山車・神輿渡御を中止し、平祭りを実施

昭和17年(1942年)

大豊作のため、久しぶりに神輿渡御とともに山車が運行。5万人の人出でにぎわう

昭和20年(1945年)

太平洋戦争終結

昭和21年(1946年)

沖の町の山車「羽衣」のみが運行

現代に受け継がれる 心意気

時代は

変われど

息吹き続ける

正まこと謙けん公こうのまご想まごい

実は珍しい みんなお休み

新庄市内の小・中学校の夏休みは、他の地域よりも少し早く終わります。新庄まつりの3日間をお休みにするためです。現在では、市内の高等学校も、県立・私立に関わらず、新庄まつり期間はお休みにしています。

市内の企業の多くも、この3日間は休業日としています。新庄にあるのが支所や工場であつても、「会社カレンダーでは営業日だが、社員が祭り祭り」と騒ぎ仕事にならなかつた」という経緯があり、現在は新庄だけ休業としているところもあるそうです。どうしても製造ラインを止めることができない会社では、新庄以外から通勤している従業員のみで操業をしているところもあります。

新庄で生まれ新庄で育った人にとつては当たり前のことかもしれませんが、全国的に見れば祭りのために学校も会社も休みになるといふのは、実は非常に珍しいこと。他地域から市内の高校に赴任してきた先生方は、みなさん驚かれるそうです。

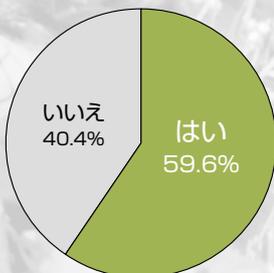
受け継がれてきた心意気

いつからこのように新庄まつりを最優先とし、学校も仕事も休んで祭りに臨むようになったのかは定かではありません。「一斉に休みにしよう」と取り決めがあつたわけではなく、新庄まつりに対する住民の熱意が波及し、自然にそのようになったのではないかと考えられます。

子どもも大人も区別なく、全住民をあげて新庄まつりを盛り上げる。これは、「いとし亥年の凶作」からの復活を願つた正まこと謙けん公こうのまご想まごいに通ずるものがあるように思います。そして、新庄まつりを通して住民みんなが元気になり、活気があふれる街にしていく。災害や戦火からの復活ではなくとも、脈々と受け継がれてきた心意気はたしかに今も息づいていると言えるのではないのでしょうか。

今年、城内新庄天満宮御鎮座390周年。記念すべきこの年に、祭りの起源を振り返り、受け継がれてきた心意気を胸に、みんなが元気でいられますように。

平成29年度 新庄まつり期間中の年次有給休暇等取得状況調査



新庄まつり期間中は事業所を休業としましたか？

半数以上の事業所が新庄まつり期間中は休業している。

(厚生労働省「地域の特性を活かした休暇取得促進のための環境整備事業(新庄市)」による調査結果より抜粋)



山車用の花作りを通して地域とつながる

新庄まつりの山車を華やかに仕上げるために必要不可欠である花。障害福祉サービス事業所である友愛園の利用者により、その全てが作られています。そしてここにも、「まつりを通して元気になってほしい」という意気込みが感じられました。



長沼 篤志さん

「専門の技術職として誇りをもって仕事をしています。自分にはできない仕事です」

富樫 宏子さん

「桜を作ることや、あじさいを作ることには、たくさんの楽しさがあります」

佐藤 明日香さん

「ボンド付けなどが楽しいです。この仕事を今後も続けていきたいです」

▲園長の高橋聖一さん(右)

▲作業場の様子。皆さん真剣に作業をしています

▲完成し出荷を待つ牡丹

花作りを始めたのは平成17年。当時21あった町内のうち、13町内の山車の花を作っていました。雨による色落ちを防ぐために塗料の種類を吟味したり、町内ごとに異なる色の濃淡を出すために工夫したり、品質の向上に努めてきたそうです。そして現在では、全ての町内の花を作っています。去年は桜を約35,000個、松を約4,500個、牡丹を約500個つくりましたが、平成25年来、年々受注数が少なくなっています。園長の高橋聖一さんは、「色落ちしにくくしたことで、翌年も使えるようになったからかもしれませんね」と話してくれました。

利用者の方たちは、自分が作ったものが祭りで町中を練り歩き、多くの市民や観光客に注目してもらえることを誇りに思っているそうです。自分たちの祭りだという意識を持ち、山車づくりや山車引きに参加する方もいるそうです。また、華やかな仕事

であるため、楽しく取り組むことができているとのことでした。作業場の雰囲気を見ると、適度な緊張感の中で真剣に作業をしている様子が見受けられました。手元に目を移せば、それはまさに職人技。時間をかけて培ってきた技術であることがわかりました。

友愛園が請け負っている仕事の中でも、花作りは地域と密接につながる数少ない仕事だそうです。「利用者や地域との結びつきを強くする、という使命感です」引き締まった表情で高橋園長が話してくれました。花作りを通して新庄まつりに貢献することで、障がい者と地域の橋渡しをすること。そして、障がい者も地域も元気になっていただきたい。ここにも、「まつりを通して元気になってもらいたい」との心意気が受け継がれているようでした。



障害福祉サービス事業所 友愛園

〒996-0054 山形県新庄市大字仁間字野際285番地 Tel.23-4516

「働く楽しさ 遊ぶ喜び みんなが幸せになれる場所を目指して！」をモットーに、生活介護事業、就労継続支援B型事業、就労移行支援事業を行う。就労支援の一環で生産されるものは山車用の花の他にも、縫製品、木工製品、印刷物、園芸品などがある。新庄市内だけでなく、県外・首都圏との取引もある。



祭りを彩る 心意気



▲新庄城址を出発する神輿

道を払い清める神官が進み、その後から町太鼓が行列の到来を知らせます。
先頭にいる御先手は「下におろう、下におろう」のかけ声をかけて進みます。これは、神輿は立ったまま押進んでならぬという戒めの言葉です。行列を横切ったり、高いところから見下げることは禁止されています。

神輿渡御行列 みこしとぎよぎょうれつ



▲アビエスに到着後、神事が執り行われる



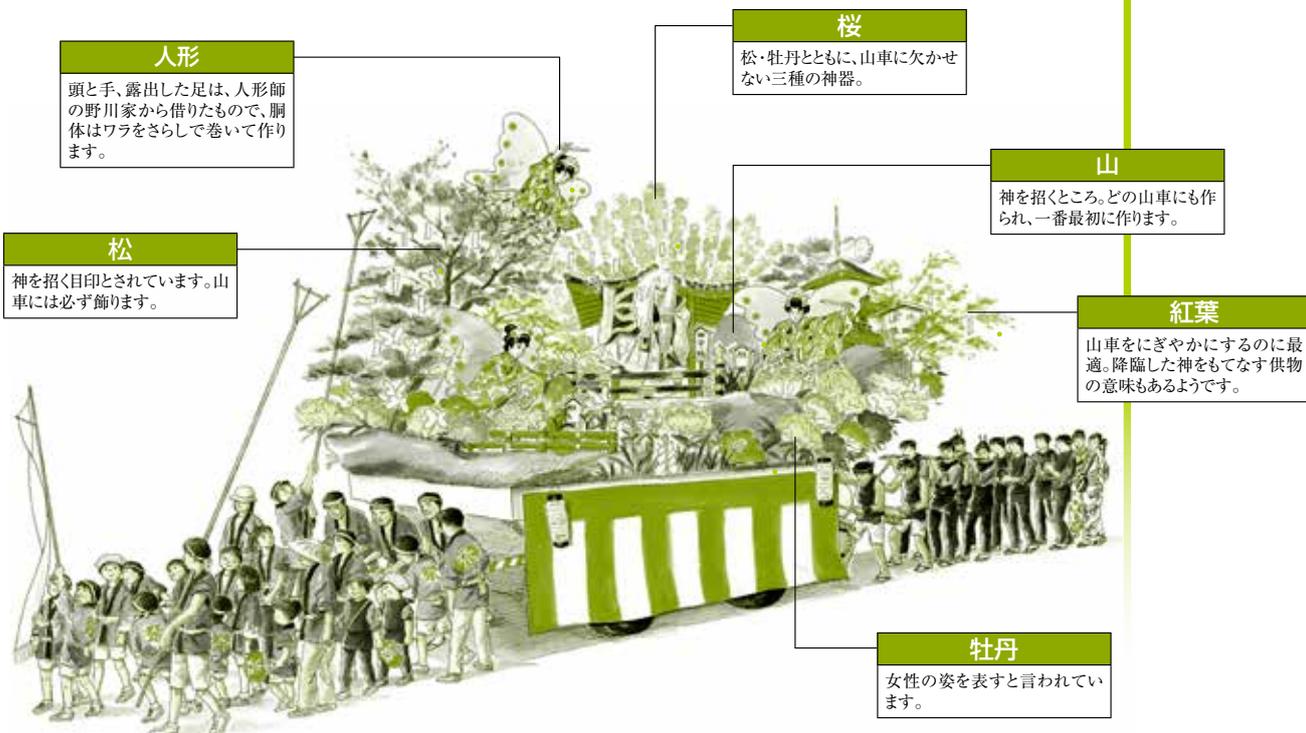
▲石川町のごさげん通り

山車(やたい)

新庄まつりの山車は、「やたい」と呼ばれています。町衆は若連という組織を作り、毎年町内単位で山車を作ります。題材は能・歌舞伎や歴史物語・伝説などから選び、等身大の人形を中心に、山・館・花・滝などを周りに配置します。

各町内が華やかさと卓越した技を競い合う山車は、数カ月かけて精魂込めて作られます。

選考会で優秀とされた山車は、ふるさと歴史センターに2台、ゆめりあに1台が1年間展示されます。その他の山車はすべて解体されます。



人形

頭と手、露出した足は、人形師の野川家から借りたもので、胴体はワラをさらして巻いて作ります。

松

神を招く目印とされています。山車には必ず飾ります。

桜

松・牡丹とともに、山車に欠かせない三種の神器。

山

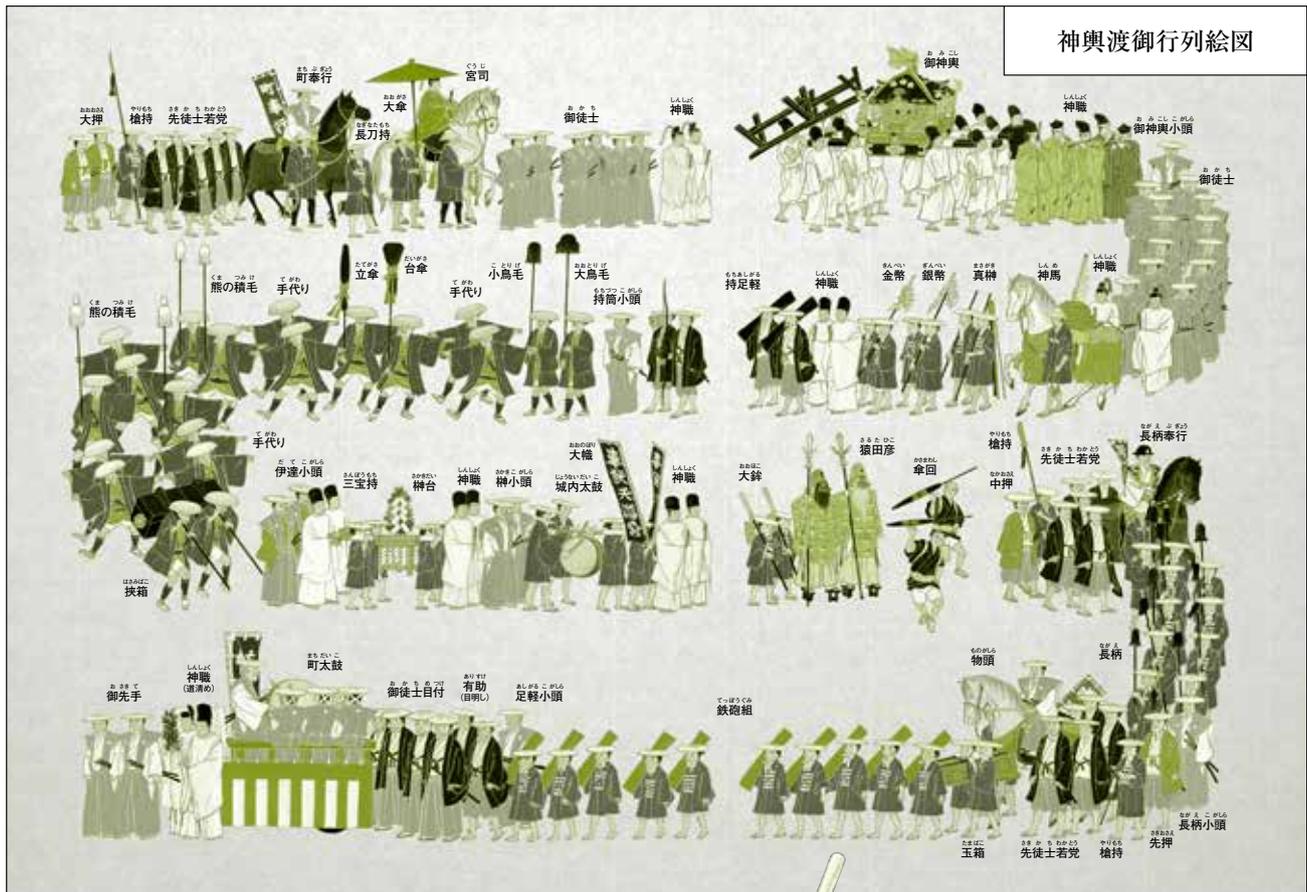
神を招くところ。どの山車にも作られ、一番最初に作ります。

紅葉

山車をにぎやかにするのに最適。降臨した神をもてなす供物の意味もあるようです。

牡丹

女性の姿を表すと言われています。



まつり囃子

山車作りが町衆ならば、囃子方は在方の若衆たちの役目です。山車の後方に囃子若連が付き、大太鼓・小太鼓・笛・鉦などで構成されます。

囃子の演奏技術はそれぞれの地域の秘伝であり、他の地域に持ち出すことができなかったことと、楽譜がなく口伝のため、それぞれ少しずつ異なったものになっています。



▲24日アビエスで行われる合同囃子演奏会



▲26日の飾り山車で名調子を響かせる

これらのほかにも、祭りを彩る心意気はたくさんあります。詳細は、「新庄まつりかわら版」をご覧ください。



6/30 外国語指導助手書道クラブ作品展
📍 市民プラザ1階市民ロビー



○ 4名の外国語指導助手による書道展が開催され、心のこもった作品が並びました。

7/1 あじさいまつり
📍 東山公園あじさいの杜



○ 例年より早めの開催で、4割程度の咲き具合でしたが、多くの来場者で賑わいました。

7/5 たんぼぼ作業所へ感謝状授与
📍 たんぼぼ作業所



○ 「エコキャップ回収運動」が高く評価され、ネットヨタ山形が感謝状を授与しました。

7/7 あじさいいけばな展
📍 市民プラザ



○ 52点の作品が展示され、季節の花が会場を彩っていました。

7/7 みちのく民話まつり夏語り
📍 歴史センター



○ 7時7分に開始し、語り部たちが77分間民話を語り、参加者は話に聞き入っていました。

7/8 早朝河川清掃実施
📍 市内8河川



○ 早朝から90地区の約4,500人が参加し、市内を流れる8河川の清掃を行いました。

7/8 山大フィールドワーク開催
📍 雪の里情報館



○ 山大生が新庄まつりを盛り上げるためのアイデアを発表し、意見交換を行いました。

7/14 第4回バザール&夜市
📍 アビエス広場



○ 地域自慢のグルメを味わいながら、歌やダンスの披露に大いに盛り上がっていました。

7/15 7月のキトキトマルシェ
📍 エコロジーガーデン



○ 手づくりの製品販売やフリーマーケットなどが行われ、多くの来場者で賑わいました。



7/15 津谷～古口間道路開通の感謝を伝える会
 戸沢村古口



○ 戸沢村津谷から古口までの区間が開通し、庄内方面への交通網が更に整備されました。

7/27 親子夏雪体験ツアー
 雪の里情報館



○ 市内外から37名が参加し、市内の雪関連施設で歴史を学び、雪を体験しました。

7/28 升形川灯籠流し
 升形川(県立病院脇)



○ 参加者の願いを書いた灯籠が升形川に流され、幻想的な光景として夏の夜を彩りました。



7月のまちかど PICK UP!

新庄市エコロジーガーデンの未来を考える トークイベントを開催しました。

6月30日

エコロジーガーデンおよび雪の里情報館



▲旧蚕糸試験場庁舎の展示室を見学



▲宿泊交流施設「MINOMUSHI」を見学



▲講師による先進事例発表



▲地元関係者による活用法についての意見発表

○ 新庄市エコロジーガーデンは、蚕産業の振興のため昭和9年に農林水産省の研究所として建設された建物で、平成12年に閉所しました。その後、平成14年に財務省より市に移管され、「新庄市エコロジーガーデン」として一般開放しました。平成24年にはキトキトマルシェを開始し、平成25年に建物群と敷地の部分が国の登録文化財になりました。平成27年からはカフェやギャラリーがオープンするなど、徐々に地域内外の人に愛される施設に育ちました。

一方、広大な敷地ゆえに活用されていない場所が多く残っています。そこで、民間事業者による有効活用を検討するイベントを市が開催しました。この取り組みは東北地方では初の試みです。

現地の見学と先進的な取り組みを行っている関係者による事例紹介が行われ、講師と参加者が有効活用について熱く語り合いました。

活動紹介

スポーツをより身近に支える スポーツを通じたコミュニティづくり

2020年の東京オリンピック・パラリンピックが近づく中、大会参加国や地域との人的・経済的・文化的な相互交流を行うホストタウンの取り組みをはじめ、さまざまな形でスポーツを身近に感じられる環境が整ってきています。

また、スポーツには「する」楽しみだけでなく、「見る」「支える」という楽しみ方もあります。これらの楽しみ方を組み合わせることで、「いつでも」「どこでも」「だれでも」楽しめるスポーツコミュニティが生まれます。

このコミュニティ活動が盛んになれば、スポーツをより身近に感じ生活の一部にする人が増えるでしょう。小さい頃からスポーツに触れ、その経験を積み重ねることで、健康や生きがい、社会参加につながっていくものと考えます。

本市でも各団体や関係機関が、ライフステージに合わせたスポーツや体を動かす機会を提供しています。ぜひ色々なスポーツのあり方・楽しみ方を考えてみてください。

新庄市スポーツ推進委員(協議会)



◎社会教育課 Tel内線471・472

スポーツの楽しさを伝え、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境をつくるため、各地域でスポーツの推進に努めています。また、協議会を組織し、市が企画した各スポーツ事業の運営にも協力しています。

ピクニックアップ

◎放課後子ども教室

萩野学園・本合海小学校の放課後子ども教室で、軽スポーツの指導などを行っています。

◎第1回

新庄ハーフマラソン大会
昨年の大会のウォーキング部門の企画から運営まで全体的な監修を行いました。

かむてんスポーツクラブ



◎かむてんスポーツクラブ事務局 Tel.32-0919

生涯にわたり主体的・継続的にスポーツに親しむ環境づくりを目指し、地域の住民により自主的に運営されています。子どもから高齢者まで、それぞれの趣味・レベルに合わせて参加できます。

ピクニックアップ

◎豊富なコース設定

時間や種目別に計18コースの種目を用意し、会員の健康づくり・仲間づくりの場を提供しています。

◎市民体カテスト

文部科学省の「体力・運動能力調査」に基づいて、参加者の体力の測定を実施しています。市スポーツ推進委員も運営に協力しています。

(一財)新庄市体育協会



◎新庄市体育協会 Tel.22-0681

市のスポーツを振興する関係機関として、市民の体力向上・健康増進・スポーツ精神の高揚を図り、年齢に応じたスポーツに親しむ環境づくりを進めています。

ピクニックアップ

◎はばたきクラブ

学校以外で運動する機会が少ない子どもを対象に、汗をかき、くつろぎの気持ち良さや体の動かし方を身につけ、運動を取り入れた健康的な生活につなげるため、遊び・運動の機会を定期的に提供しています。
年2回、親子での遊びや運動を通じ交流する機会も設けています。活動状況は、家族に紙面でお知らせしています。

新庄市レクリエーション協会



◎社会教育課 Tel内線471・472

市の生涯スポーツ振興の一役を担い、健全なレクリエーション活動の普及と市内のレクリエーション団体や地域住民との連絡調整を図り、健康づくりや地域の交流促進などをサポートしています。

ピックアップ

○かむてんスポーツクラブとの連携

所属する9つの団体の各活動を中心に、かむてんスポーツクラブの種目別の講師として活躍しています。

○市スポーツ・レクリエーション祭
グラウンドゴルフや健康体操など、気軽に参加できるスポーツイベントの企画と運営を担っています。

スペシャルオリンピックス日本 山形県・新庄最上支部



◎新庄・最上支部事務局 Tel.090-2651-7269

知的障害のある人たちに、さまざまなスポーツトレーニングを行い、その成果の発表の場である競技会を提供している国際的なスポーツ組織です。

ピックアップ

○新庄最上支部

参加する約30名の選手が、毎月2回程度、卓球とバドミントンを中心に活動しています。

○ボランティアによる活動

現在約20名の方々が、得意な競技のコーチや一緒にスポーツの練習をするパートナー、イベントのサポートなど、さまざまなスタイルでボランティアとして参加しています。

新庄市身体障害者福祉協会



◎新庄市身体障害者福祉協会 Tel.23-3008

身体障害者相談員の推薦や障害者福祉に関する提言を行うほか、障害者の文化芸術やスポーツに関する活動にも長年取り組んでいます。

ピックアップ

○豊富なスポーツメニュー

体力の維持・増進と明るい地域づくりを目指し、スポーツの機会を設けています。

カローリング、屋内カーリング、フライングディスク、ボッチャ、ダーツ、輪投げ、卓球パレーなど、たくさんメニューで活動を行うほか、これらメニューの成果を競う大会を開催しています。

INFORMATION



第2回新庄いものこハーフマラソン大会 “ファミリーの部” 参加者募集中!



昨年より開催しているマラソン大会に、新たにファミリーの部を追加。より賑やかに、市民総参加のマラソン大会を目指します。

距離は3キロ。スタートも10時40分からとゆっくり。先にスタートしたランナーも応援しながら、無理なく参加できる内容です。

走り終われば親子でいものこ汁やおにぎりをゆっくり味わうことができます。ぜひこの機会に親子のコミュニケーションを深めてみませんか。

■とき 10月28日(日) ■ところ 新庄東山総合運動公園

■定員 100組(2人1組 大人、子ども)

■参加料 2,000円/組 記念品としてタオルを進呈

| エントリー方法 | 申込締切 |
|---|----------|
| 専用ホームページ(http://www.shinjohalf.jp) | 9月14日(金) |
| 郵便振替 | 8月31日(金) |

※それぞれ手数料がかかります。

地域おこし協力隊 活動レポート



岩本 涼花

(千葉県袖ヶ浦市出身・24歳)
社会教育課
ふるさと歴史センター所属

平成29年4月、地域おこし協力隊就任。伝統ある新庄の歴史や文化財資源の保存・活用を行い、それらの情報発信や展示・解説の英訳などの機能の充実に努めている。

魅力ある新庄の文化財を 多くの人に知ってもらいたい

そこで私がやったこと

新庄は千葉県から移住してきた私から見て、新庄まつりや歴史センターの資料など、魅力ある文化財がたくさんある街でした。それなのにこの街の魅力に市民が気づいていないのではないかと感じました。

そこで私が取り組み始めたのは、歴史センターに来館した外国人に道具の名前を知ってもらい、日本人には道具の名称だけではなく使い方もわかるように、地下民具室の解説文をリニューアルすることです。民具の解説文をわかりやすくするために、資料名だけではなく、民具の簡単な説明と英訳を併記したものを作成。今までの解説文は道具名だけで、使い方までは伝わりづらかったのですが、道具の説明を明記したことで「説明がある」とわかりやすいと来館者の声を聞くことができました。

次の取り組みとして新庄亀綾織をテーマに、平成29年11月18日から平成30年1月22日まで企画展を開催しました。この企画展では、エコジージャーデン・養蚕の歴史や道具・新庄亀綾織の歴史・亀綾織の着物・新庄亀綾織伝承協会のあゆみなどの紹介や、伝承協会

と長泉寺から借りた資料の展示をしました。企画展を立案し、計画通りに実行することは難しく、資料を置いて解説文をつけるだけではなく、もう少し展示方法に工夫が必要だったと感じました。

展示替えにも携わり、冬に開催したひなまつり展では、約700体の雛人形と約800点の雛道具をボランティアの皆さんと協力しながら展示しました。この企画展に関連して、3月3日のひなまつりに合わせて来館者に甘酒とくじら餅の振る舞いを行い、子どもから大人まで楽しんでもらえたと思います。

さらに私がやりたいこと

前年度に引き続き、地下展示室の解説文リニューアルを進めていきます。それから、市内文化財を紹介する小冊子作成の準備をしたいと考えています。そのために、他の市町村の文化財冊子などという構図で作られているのか勉強し、新庄市史などを参考にしながら文化財の情報を集めたいと思います。

前年度は、歴史センターや地域の文化財について情報発信することがあまりできていなかったため、今年度はSNSなどを利用して情報発信を積極的にやりたいです。

第33回 みちのく民話まつり

～囲炉裏端で聴く新庄・最上の昔話～

- とき 10月20日(土)13時30分開演
- ところ 旧矢作家住宅(国重要文化財)
- 内容 新庄民話の会による口演。囲炉裏の前で聴く民話は雰囲気があります。ぜひ、お越しください。





高橋 諒

(新庄市出身・36歳)
商工観光課
企業立地・商工振興室所属

平成29年5月、地域おこし協力隊就任。「かむてん」を活用した市のピーアール・ブランディングを担当。東京のデザイン制作事務所でアートディレクターをしていた前職を持つ。

かむてんを活用して 新庄市のピーアールにつなげる

かむてんの活用」を担当して1年。就任してまず思ったのは「かむてんはもっと有効活用できるのに、もったいない」ということでした。イメージキャラクターという存在が担う大きな役割のひとつは「新庄市のピーアール」です。かむてんの過去の活動を見てみると、「ゴミ袋に登場する」だけのキャラクター、イベントの場で手を振る「だけ」のキャラクター、といった印象が否めず、新庄市のピーアールへの貢献がまだまだ弱いと感じました。

街を明るく楽しくするのもかむてんの役目

「かむてんの活用」を担当して1年。就任してまず思ったのは「かむてんはもっと有効活用できるのに、もったいない」ということでした。イメージキャラクターという存在が担う大きな役割のひとつは「新庄市のピーアール」です。かむてんの過去の活動を見てみると、「ゴミ袋に登場する」だけのキャラクター、イベントの場で手を振る「だけ」のキャラクター、といった印象が否めず、新庄市のピーアールへの貢献がまだまだ弱いと感じました。

SNSを通じて全国の方に「新庄市の存在と魅力」をピーアールする

そこで昨年、まっさきに取り組んだのがSNS(Twitter)の開設です。かむてん自身が、新庄市のイベント情報や季節の風景、地域のみめ知識などを発信しています。全国には、新庄市を知らない人がたくさんいます。また、市民の中にもかむてんをよく知らないという人がいます。そういう人たちに、まずは新庄市とかむてんを知ってもらい、好きになってもらうこと。情報の拡散に長けるSNSの強みを活

かしていきたくて考えています。全国に向けた情報発信以外にも、新庄市が楽しい場所になるようなかむてんの活用方法を同時に企画してきました。今年2月には「かむてんグッズマップ」を作成。市内のお店にご協力いただき、コラボグッズやコラボメニューを展開した街歩き企画を実施しています。秋にはかむてんがデザインされた新しいまちなか循環バス(市営バス)の運行も予定されています。新庄の街を楽しくしてもらうことも、かむてんの役割のひとつです。おじいちゃんのかむてんには苦勞をかけますが、一緒に頑張っていきたいです。

今年度は、全国和風マスコットキャラクターサークル「きやわ和」に加入。「ゆるキャラ@グランプリ」エントリーや「世界キャラクターさみことin羽生」への参加も行い、さらに積極的にかむてんの露出を図っていく予定です。これからかむてんの活躍にどうぞご期待くださいー

かむてん
Twitter



かむてん
初出場!

ゆるキャラグランプリ
2018

投票期間 8.1~11.9 18:00まで

1日1票、応援よろしくお願ひします!

投票は「さびいから」



※「ゆるキャラ」および「ゆるキャラグランプリ」は登録商標です。

今月の新着

郷土本

神室連峰物語

..... 坂本 俊亮
 スッキリがってん!高圧受電設備の本..... 栗田 晃一
 飯象のオリュンポス
 佐藤 真理恵
 杉本一文『装』画集
 杉本 一文



一般図書

しない。..... 群 ようこ
 星夜航行 上・下..... 飯嶋 和一
 ああ、犬よ! —作家と犬をめぐる28話— キノブックス
 今すぐ食べたい!すごい缶詰150..... イカロス出版
 ちひろメモリアル —生誕100年—..... 平凡社
 よくある子どもの病気・ケガまずの対応マニュアル
 新谷 まさこ

児童書

でんでらの(えほん遠野物語)..... 京極 夏彦
 じぶんでよめるでんしゃずかん..... 成美堂出版
 怪盗グルーの月泥棒..... 澁谷 正子
 5億年後に意外な結末..... 菅原 そうた原作
 未来のミライ (角川つばさ文庫)..... 細田 守

インフォメーション

新庄市平和都市宣言35周年記念 「語り継ぐシベリア抑留の記憶展」 図書館連携展示

- とき ~8月31日(金)
- ところ 市立図書館
- 内容 関係図書(県立図書館所蔵の図書など)の展示

おはなしプラネタリウム ~銀河鉄道の夜~

- とき 8月23日(木) 18:00~20:00
- ところ 教育研究センター(旧昭和小学校)
- 内容 「銀河鉄道の夜」の朗読とプラネタリウムの上演、移動図書館による本の貸出

2018 後期 生徒募集!!

小4.5.6算 / 中1.2英数 / 高1.2英数
 中3英数理(要相談) / 高3英数(募集終了)

〈8月の休業日〉お盆8/11~16 新庄祭8/24~26



学習塾きたうら 29-5353

こらっせ新庄近隣 PM2時~9時(日曜定休)

本とひとをつなげる空間

図書館に行こう!

本を片手に新庄のまちにでかけよう!!

暑い夏に、涼しい図書館で読書!

この季節、新庄といえは、やはり新庄まつり。大飢饉で苦しむ人々を勇気づけるために始めたおまつりです。この由来を知り感銘を受けた滋賀県在住の作家今村翔吾氏は、江戸時代の新庄藩にいた火消(今の「消防団」組織)たちを小説にすることを決意したそうです。それが、今大人気の「羽州ぼろ鳶組」シリーズです。今回は、本シリーズの第1巻『火喰鳥』を読んだ若連の方にお話をお聞きしました。



▲沖の町若連の須田治さん

その方は、沖の町若連の須田治さん。須田さんは、「主人公が組織化されていなかった新庄藩の火消を再建していく姿が印象的でした。組織はひとりでは作れませんが、ぼろ鳶も若連も同じで、仲間や家族の協力があつてはじめて強固な組織となります。自分たちが目指す目的のために年齢・立場を超えて情熱を注ぐ姿は、お互いよく似ていました。」と話していました。



▲「羽州ぼろ鳶組」シリーズ全5巻

この時期、若連の皆さんは、仕事や家庭、山車制作に慌ただしく過ごすうです。みなさんは、慌ただしく毎日過ごす時間を、明日のと息ついて読書をする時間は、明日の

で、仲間や家族の協力があつてはじめて強固な組織となります。自分たちが目指す目的のために年齢・立場を超えて情熱を注ぐ姿は、お互いよく似ていました。」と話していました。

今月のブック・チャージ

〜本で「ニコロ」の充電!〜



最上地域で10年以上の実績! お気軽にご相談ください 新庄ひまわり基金法律事務所

〈破産・過払い金〉 債務整理初回相談無料
 離婚・相続・交通事故・その他法律相談など
 法テラス無料相談取扱あり

山形県弁護士会所属 〒996-0024 新庄市多門町2-7ネパールビル2階
 弁護士 千葉剛志 ☎0233-28-7062



9月10日～
9月16日は、

「自殺予防週間」です

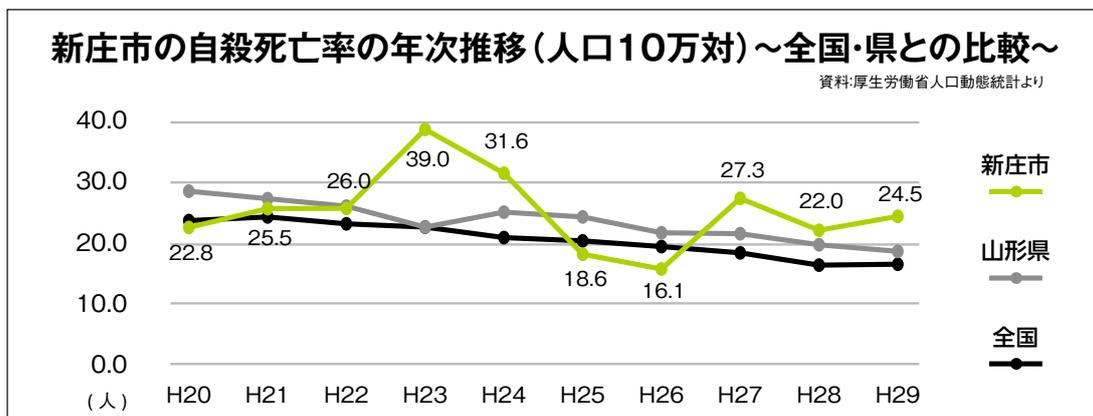
そばにいる大切な人を守ろう

自殺は、健康や経済に対する不安や家族の問題など、複数の要因により心理的に追い込まれた状態から起こると言われています。大切な人が悩んでいることに気づいたら、一歩勇気を出して声をかけてみませんか。変化に「気づき」、じっくり「耳を傾け」、相談機関に「つなぎ」、「見守る」ことが自殺を防ぐことにつながります。



◆本市の現状

毎年、自殺により大切な命が奪われています。人口10万人当たりの自殺死亡者数を表す自殺死亡率は、全国や山形県と比べ高い傾向にあります。



ひとりで抱え込まず まず誰かに **相談** してみましょう

山形県精神保健福祉センター 「心の健康相談ダイヤル」

■受付 月曜～金曜

9時～12時、13時～17時

※祝日・年末年始は除く

TEL023-631-7060

新庄市健康課こころの相談

●市保健師による「健康相談」(毎週金曜9時～11時30分)

※祝日・年末年始は除く

●精神科医または臨床心理士による「こころの健康相談」(月1回)

●司法書士による「多重債務相談」(随時、夜間も対応)

TEL22-2111(内線516) ※予約制。相談無料

からあげ
十兵衛

おまつり用オードブル 2,500円
十兵衛一押しのおードブル! 旨し!! (税込)～

ご注文は
電話予約が
おすすめ!

若葉町 9-53
(三井生命さん裏)

☎ 32-1551 (日曜休)

※訂正お詫びいたします。

4月9日発行広報しんじょう4月号のP.4本文8行目とP.5図中4段目にあります「社会教育基盤の整備」は「社会生活基盤の整備」の誤りでした。

6月末現在の
新庄人

| | | |
|-----|----------|------------|
| | 35,982人 | (36,484人) |
| 男 | 17,158人 | (17,368人) |
| 女 | 18,824人 | (19,116人) |
| 世帯数 | 13,946世帯 | (13,888世帯) |

※()は1年前の日本人+外国人の数です。

6月の異動

| | | |
|----|-----|-------|
| 出生 | 15人 | (14人) |
| 死亡 | 36人 | (33人) |
| 転入 | 73人 | (65人) |
| 転出 | 68人 | (65人) |

不動産無料相談会

◎山形県宅地宅建取引業協会新庄もがみ・黒坂 Tel29-7333

- とき 8月31日(金)15時～17時
- ところ 市民プラザ

依存症家族教室

◎県精神保健福祉センター Tel023-674-0139

- 対象 アルコール、ギャンブルなどの依存症の問題に悩んでいる家族
- とき 9月8日(土)、10月27日(土)、ともに14時～16時 ※1回のみ参加可
- ところ 県精神保健福祉センター(山形市)
- 内容 講演「依存症の理解」ほか
- 講師 山容病院院長 小林和人氏ほか
- 参加費 無料

出張市民講座

◎放送大学山形学習センター Tel023-646-8836

- とき 9月9日(日)13時30分～15時
- ところ ゆめりあ2階会議室
- 内容 講演「世界のことばと接してみよう」
- 講師 富田かおる氏(山形大学教授)
- 定員 60名 ■参加費 無料

ふるさと奨学ローン

◎東北労働金庫山形県本部 Tel0120-1919-62

- 取扱期間 ～9月30日(日)
- 融資金額 最高1,000万円
- 融資期間 最長10年
- 金利 1.85%～3.15% ※詳しくは、お電話いただくか、ホームページをご覧ください。

ふるさと奨学ローン利子補給制度

◎公益財団法人山形県勤労者育成教育基金協会 Tel023-635-2111

- 対象 ろうきん制度「ふるさと奨学ローン」を借りて修学したのち、県内の事業所などに就職または就業した方
- 内容 返済終了まで元金300万円を限度に最大年2.0%の利子相当分を補給

出張相談会

◎県求職者総合支援センター Tel0800-800-7867

- とき 9月14日(金)13時～16時
- ところ トータル・ジョブサポート新庄(新庄合同庁舎2階) ■内容 面談による生活、住まい、就職活動などの悩み相談
- 費用 無料

郷土料理教室

◎食改事務局(健康課内) Tel内線516

- 対象 市内在住の方
- とき 8月31日(金)
- ところ 市民プラザ調理室
- 内容 夏の郷土料理
- 参加費 500円 ■定員 25名
- 申込締切 8月24日(金)

毎月1回の料理教室

◎事務局・笹 Tel23-2086

- とき 8月30日(木)①11時～、②18時～
- ところ 市民プラザ調理室
- 講師 笹美知子氏
- 内容 夏のイタリアン
- 参加費 2,500円
- 申込締切 8月27日(月)

SUN・SUNクラブ

◎向陽幼稚園 Tel23-4575

- 対象 2歳～4歳までの未就園児とその保護者
- とき 9月15日(土)10時～11時(受付は9時50分まで)
- 内容 運動会ごっこ ■参加費 無料
- 定員 15名 ■申込締切 9月13日(木)

火消しの道具展

◎ふるさと歴史センター Tel22-2188

- とき 6月23日(土)～9月3日(月)
- ところ ふるさと歴史センター
- 内容 新庄藩士の火消し装束や消防道具などを展示
- 入館料 大人300円、高校生100円、小・中学生50円

催しなど

新庄東山焼展～新庄に生きづく伝統～

- 展示期間 8月3日(金)～9月30日(日)
- ところ 雪の里情報館
- 参加費 無料
- ◎雪の里情報館 Tel22-7891

新庄病院健康まつり

- とき 9月9日(日)10時～13時
- ところ 県立新庄病院
- テーマ 「仁・愛・和～めざせ健康100歳!!見つめよう自分のからだ～」
- 内容 ちびっこドクター・ナース・赤ちゃんを抱っこしてみようなどの体験コーナー、まちの保健室等各種健康相談、骨折予防に関する講演会、はしご車・ボンブ車・救急車、パトカー、ミニ白バイ展示など
- 料金 無料(事前申込不要)
- ◎県立新庄病院 Tel22-5525

朗読会会員募集

- とき 毎月第2・4水曜日13時～15時
- ところ わくわく新庄
- 内容 楽しい読み物を会員で朗読をします。
- 講師 三浦和枝氏
- 参加費 500円/月
- ◎朗読会・江口 Tel090-4881-8410

わくわく新庄フェスティバル

- ところ わくわく新庄(日新小向かい)
- 【展示の部】
- とき 9月1日(土)～2日(日)9時～19時 ※2日は16時まで
- 内容 絵画・絵手紙・筆ペン字などの展示
- 【演技の部】
- とき 9月1日(土)16時～19時
- 内容 歌・踊り・フラダンスなど
- 【あそびの広場】
- とき 9月2日(日)10時～11時
- 内容 子育て支援センターの先生と体を使って遊ぼう!
- ※バザー、野菜などの産直販売、昼の食堂もあります。
- ◎わくわく新庄 Tel23-0197

スタッフ募集!

新庄市内勤務

| | 栄養士(正社員) | 保育園給食 |
|----|----------------------|--------------------|
| 勤務 | 8:00～17:00 実働7.5h | 8:30～11:30 実働3h |
| 休日 | 土・日 | 土・日・祝日 |



療食 株式会社ベスト 新庄支店 お気軽に お問い合わせ下さい!
〒997-0851 新庄市千門町13-20 ☎0233-23-7690 担当者 松田

新庄市鳥越に「エヴァモア美術館」・「エヴァやすらぎ」オープン
〒996-0041 新庄市鳥越駒場 1488-109 Tel0233-29-8870



EVERMORE美術館

お葬式も比較の時代です。 損をしないご葬儀をするために 生前会員制度の見直しをしませんか?

市制施行70周年記念事業 企画会議市民委員の募集

- 対象 市内在住の18歳以上(高校生不可)で、月2回程度実施する18時以降の会議参加および記念事業当日に参加できる方
 - とき 10月～平成31年3月
 - 内容 市制施行70周年記念事業の企画立案のための意見交換への参加および市制施行70周年記念事業の準備、運営を行っていただきます。
 - 募集人数 3名程度
 - 応募締切 8月31日(金)
 - ※応募方法などは市ホームページをご覧ください。
- ◎総合政策課 TEL内線236

まちなか循環バスの デザインと愛称決定

1,135票の投票によりバス車両のデザインと愛称が決まりました。乗り口とその反対側に、それぞれかむてんの「買い物」と「お茶」のイラストが装飾されます。路線の愛称は「かむてん号まずあべ線」になりました。

市街地を周遊し、買い物や通院しやすくなるまちなか循環バスは11月運行を予定しています。多くのご乗車をお待ちしています。

◎総合政策課 TEL内線236

20歳になったら国民年金の 加入手続きをしましょう

◎年金事務所 TEL22-2050
市民課 TEL内線133・134

学生や自営業の方は、第1号被保険者として国民年金保険料を納付することになります。納付書が日本年金機構から届きますので、納付期限までに忘れずに納付してください。

期限までに納付しないと、将来受け取る年金額が減るだけでなく、もしものときに障害年金や遺族年金を受け取ることができないおそれがあります。学生の方や経済的に納付が難しい方には免除・納付猶予制度があります。ご相談ください。

全国瞬時警報システム(Jアラート) の伝達訓練の実施

- ◎総務課 TEL内線212
- とき 8月29日(水)11時頃
 - ところ 防災行政無線のスピーカーが設置されている周辺地域
 - 内容 防災行政無線よりチャイムが鳴った後、Jアラートのテスト放送が行われます。
 - ※8月27日(月)、28日(火)の11時に試験放送があります。

平和都市宣言旗掲揚式

- ◎総務課 TEL内線230
- とき 8月15日(水)11時40分～12時
 - ところ 市役所前駐車場
 - 内容 平和都市宣言旗の掲揚、平和祈念の黙祷など(正午から1分間サイレン吹鳴予定)

一時預かり保育

- ◎新庄保育園 TEL22-0260
- 対象 市内在住の8ヶ月～就学前の児童
 - とき 月曜～土曜(祝日・休園日は除く)8時30分～19時
 - ところ 新庄保育園
 - 内容 緊急に家庭での保育が困難になったとき、一時的にお子さんをお預かりします。
 - 料金

| | 3歳未満 | 3歳以上 |
|---------|--------|--------|
| 4時間以内 | 1,400円 | 800円 |
| 4時間を超える | 2,800円 | 1,600円 |

※延長料金:17時以降1時間につき500円(最大19時まで)

- 申込方法 保育園で事前登録後、要予約

子育て支援センター・ぴよこクラブ

- ◎新庄保育園 TEL22-0260
- 対象 0歳～就学前の児童とその保護者
 - とき 月曜～金曜(祝日・休園日は除く)9時30分～11時30分、13時30分～16時30分
 - ところ 新庄保育園
 - 内容 親子で制作活動やクッキング、イベント活動、水遊び、広い園庭での自由遊び、読み聞かせなど
 - 参加費 無料
 - 持ち物 飲み物、着替えなど

看護師の就業支援 山形県ナースセンターへの登録

◎山形県ナースセンター TEL023-646-8878

山形県ナースセンターでは、看護師などの免許を持つ方に、無料の職業紹介や復職に向けた研修などの就業支援を行っています。免許をお持ちで働いていない方は、山形県ナースセンターにぜひ登録ください。

看護技術セミナー・ナースカフェ

◎公益社団法人山形県看護協会 TEL023-685-8033

- 対象 未就業の看護職の方
- とき 8月30日(木)9時30分～12時30分
- ところ 新庄合同庁舎(ハローワーク新庄)
- 内容 ①静脈採血の復習、②ナースカフェ(参加者同士の交流会)
- 参加費 無料
- 定員 10名
- 申込締切 8月20日(月)
- ※臨時託児所あり(先着順)

応急手当普及員養成講習

◎消防署救急係 TEL22-7521

- とき 11月23日(金・祝)～25日(日)9時～18時
- ところ 消防署2階会議室
- 内容 AED(自動体外式除細動器)の使用を含めた応急手当の知識・技能(心肺蘇生法・止血法など)とその指導方法の習得
- 定員 40名
- 申込締切 9月16日(日)

市営バス「かむてん号」 新庄まつり期間の経路変更

◎総合政策課 TEL内線236

8月24日(金)は運行経路が変更となり、下記停留所を通りません。ご了承ください。

【土内線】新庄駅前・沖の町・南本町・北本町・万場町

【芦沢線】新庄駅前・沖の町・南本町十字路・鉄砲町・金沢

※土内線の円満寺入口～県立病院前は国道13号を経由。県立病院前停留所は乗降できません。

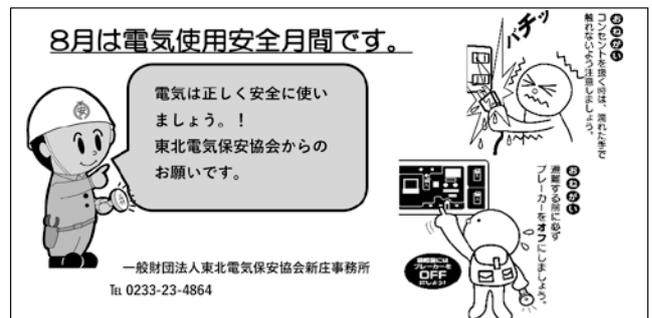


8月より
マイプレイタイム再始動!

毎週金曜、10時30分～(80分間、自由遊び+ミニレッスン)0歳～就学前の生徒対象。

1回500円でどなたでもご参加いただけます。外国人講師と楽しく遊んで自然に英語に親しみましょう!

マイ英語スクール・新庄校 TEL32-1377
こらっせ新庄1階/myeigo.com



8月は電気使用安全月間です。

電気は正しく安全に使いましょう!
東北電気保安協会からのお願いです。

一般財団法人東北電気保安協会新庄事務所
TEL 0233-23-4864

一子相伝の人形師



野川家四代目

野川北山

受け継がれるまつりの技



山車の人形は、一つ一つに違った化粧が施されており、姫と町娘には気品の差があったり、作品の時代によっても異なったりします。それらの違いを探しながら山車を眺めるのも新庄まつりの楽しみ方の一つです。

野川家130年の伝統と技

野川家は四代にわたり文楽人形をはじめ、劇人形、能面、人形制作をしている人形師の家系です。「新庄まつり」の山車人形制作を依頼されてからは、100年以上にわたって全ての山車人形を手がけています。

山車人形の素材は渋を抜いて乾燥させた桐の原木です。人形の頭には直径30cm以上の大きなものを使用します。最初は、木取り（大まかな寸法を取って、顔と首の割合を決める作業）を行い、チョンナという手斧で粗削り（目・鼻・口などの形をある程度削って決める作業）をします。

そして、鑿（のみ）で彫りの作業に入り、目・鼻・口・耳などの造形を整えていきます。外側の見える部分を彫り終えたら、

野川家二代目
(初代陽山作)野川家三代目
(二代目陽山作)野川家四代目
(二代目北山作)

両耳の前で半分に割り、内側をくり抜いてガラス質の眼球を取り付けてから接着して元の形に戻します。

ハマグリなどの貝殻を粉末状にした胡粉と、動物の骨や皮からゼラチン質を抽出した膠（にかわ）をお湯で溶かしたものを混ぜて着色します。北山氏の人形を彩色する様は、着色というよりも「化粧」に近く、時代や人物像、物語の内容によって全く違う表情に仕上がります。

最後に、人形の頭に人毛を取り付けます。時代や物語の人物を再現するために、とかしたり結ったりして髪型を整えるのは重要で、人毛でないと難しいそうです。

同様に手と足も制作し、露出しない部分は角材や藁（わら）で形作ります。そこに、頭・手・足・衣服をあわせて人形の完成です。

「喜怒哀楽をより明確に表現した人形を作り、新庄まつりの技術や伝統を、作品を通して次世代の担い手たちに伝えていきたい」と北山氏は語ってくれました。

野川家四代目
野川北山(二代目北山)